



2025 年 10 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン
代 表 者 名 代表取締役社長 成 宮 正 一 郎
(コード番号：6093 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役 管理本部担当 太 田 昌 景
(TEL. 03-6703-0500)

2026 年 2 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025 年 4 月 4 日に公表いたしました 2026 年 2 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と、本日公表の実績との差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2026 年 2 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異（2025 年 3 月 1 日～2025 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回公表数値 (A)	百万円 2,504	百万円 132	百万円 136	百万円 89	円 銭 2.04
今回実績 (B)	2,368	159	158	126	2.90
増減額 (B-A)	△136	26	21	36	
増減率 (%)	△5.4	19.9	16.0	41.5	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 2 月期第 2 四半期)	2,374	326	330	230	5.29

2. 差異が生じた理由

当第 2 四半期連結累計期間においては、建築ソリューション事業における主要顧客の敷地調査業務及び設計サポートサービスの取扱い件数が好調に推移し、また、土業ソリューション事業の主力商品であるサムポローニアシリーズが堅調に推移いたしました。一方で、金融ソリューション事業における金融機関の住宅ローンにかかるサービス利用件数が低調であったことにより、売上高は予想数値を下回りましたが、利益面においては海外子会社の安定稼働に伴う建築ソリューション事業の原価削減、販売管理費の削減及び法人税等調整額の増加等の影響により、公表予想を上回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、下半期における金融機関の住宅ローン取扱件数及び不動産事業者のサービス利用件数に影響を及ぼす市況動向を注視する必要があることから、前回公表数値を据え置いております。また、利益面においては、採用を含めた人財投資や、業務集約による生産性向上を目的とした新たなオペレーションセンターの開設等のために積極的な投資を推進してまいります。

以 上